

宮崎県環境情報センター運營業務等の委託に係る企画提案競技審査基準表

1 審査項目および審査基準

審査項目および審査基準については下表のとおりとする。

審査項目		審査基準	配点	総合
ア	県の環境教育の拠点としての妥当性	各事業における取組について、センターの役割をふまえた効果的な提案がなされている。	5	15
		環境講座等について、多くの県民の興味をひく内容となっている。	5	
		幅広い県民の環境に対する関心を高めるような情報発信の工夫がなされている。	5	
イ	他団体との連携状況	各市町村や市町村立図書館、関係団体等との連携について、効果的な提案がなされている。	5	5
ウ	環境保全アドバイザーの派遣体制	環境保全アドバイザーの活用拡大に効果的な取組が提案されている。	5	5
エ	こどもに対する環境教育への支援	こどもに対する環境教育に継続して取り組み、成果を上げられるような支援体制が整っている。	5	5
オ	業務執行体制	スタッフの配置・勤務体制は、実現可能で幅広い県民のニーズに応えられるものである。	5	5
カ	体験型環境教育の推進	幅広い環境分野において県民の気づきや意欲を促すような学びの機会が提案されている。	5	5
キ	県民の安全確保体制	各事業における安全確保策について、具体的に適切な取組が提案されている。	5	10
		事故が発生した場合を想定し、適切に対応できる体制を整えている。	5	
ク	みやざき環境大学の開催内容	環境教育指導者および高校生・大学生の連携体制の構築につながる提案がなされている。	5	15
		実現可能な行程や計画、開催方法等が提案されている。	5	
		参加者の指導力向上につながる講師や講座、ワークショップ案等を選定している。	5	

ケ	次世代エネルギーパークのPR	見学者拡大や次世代エネルギーパークの認知拡大につながるような幅広い県民を対象としたPR方法が提案されている。	5	10
		PRにあたって、県や登録施設等と連携した取組が提案されている。	5	
コ	次世代エネルギーパークの見学会の実施内容	実現可能で、県内の自然・食・文化と融合した見学コースが提案されている。	5	15
		多くの県民の興味をひく内容となっている。	5	
		見学会における安全確保策について、具体的に適切な取組や体制が提案されている。	5	
サ	その他提案事業	環境情報センターの趣旨に合致するもので、実現可能なものであり、企画内容が優れたものである。	5	5
シ	経済性	提案内容に対し経費の積算は妥当か。また、節減が図られているか。 【計算式：（価格に対する配分得点）×（1－提案額／上限額）】	5	5
合計			100	100

※小数点は第1位までで判断（第2位以下は切り捨て）する。

2 審査方法

審査項目について、企画提案書等の書面審査を実施し、最も優れた提案を選定する。

- (1) 委員の合計点数が最低基準点である420点（満点700点×6割）以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (2) 参加者が1者だけの場合、委員の合計点数が最低基準点である420点（満点700点×6割）以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

【評価規準（5段階）】

- 5 審査基準を満たし、独自の優れた提案がなされ、大きな成果が見込まれる。
- 4 審査基準を満たし、独自の提案がなされ、成果が見込まれる。
- 3 審査基準を満たしている。
- 2 審査基準にかかわる提案が不十分である。
- 1 審査基準にかかわる提案が全くない。